



2022年3月24日

各位

会社名 大豊建設株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 大隅 健一  
 (コード番号 1822 )  
 問合せ責任者 管理本部経理部長 梅原 良典  
 (TEL 03-3297-7002)

## 個別業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年5月13日に公表しました通期個別業績予想および配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 1. 個別業績予想の修正について

2022年3月期通期個別業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	120,000	6,200	6,400	4,300	238.71
今回修正予想(B)	120,000	6,200	12,400	10,300	571.79
増減額(B-A)	—	—	6,000	6,000	
増減率(%)	—	—	93.8	139.5	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	122,284	6,349	6,806	4,693	271.46

#### 修正の理由

個別業績予想につきましては、子会社である株式会社森本組からの配当金60億円を営業外収益に計上する見込みのため、経常利益が60億円、当期純利益が60億円前回発表から増加する見込みです。

なお、子会社からの配当金は連結消去を行うため、連結業績予想に変更はございません。

### 2. 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2021年5月13日発表)	—	—	—	110.00	110.00
今回修正予想	—	—	—	220.00	220.00
当期実績	—	—	—		
前期実績 (2021年3月期)	—	—	—	110.00	110.00

#### 修正の理由

当社は、長期的発展の礎となる財務体質の充実を図りつつ、安定的な配当の維持および向上を図っていくことを基本方針とし、中期経営計画(2020-2022年度)では連結配当性向を30%以上確保する計画をお示し、2022年3月期の配当予想につきましては2021年5月13日の公表時には1株当たり110円としておりました。

また、当社の筆頭株主である株式会社シティインデックスイレブンス(以下「シティインデックスイレブンス」といいます。)より、本日公表いたしました、当社による自己株式の取得および株式会社麻生に対する第三者割当増資による株式取得のスキーム(以下「本スキーム」といいます。)を実行することにより、結果として純資産が増加し、ROEが低下することはあってはならない旨のご意見をいただき、株主還元の手法及び還元額等について、シティインデックスイレブンスと協議した結果、株主価値向上のため、連結純資産を今後3年間(2022年3月期、2023年3月期および2024年3月期)にかけて、本スキーム実施前の水準に戻る程度の総還元性向とすることとしました。

具体的には、今後3年間の配当性向は当期連結純利益の70%以上を確保するものとし、これに加えて、当社普通株式の市場価格の推移、当社の業績動向、その他財務状態の諸事情を勘案した上で、総還元性向(連結)90%を目安に、機動的な自己株式の取得を検討してまいります。

したがって、2022年3月期の期末配当予想を1株当たり220円に修正いたします。

※上記の予想数値は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上